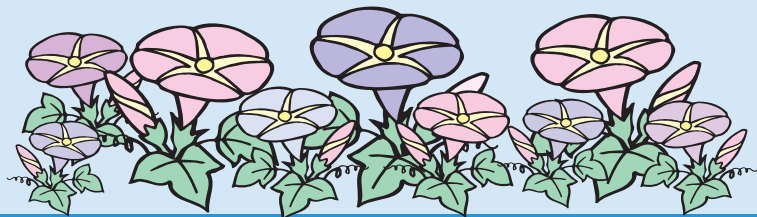


かわさきチャレンジ・3Rニュース

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取り組みや、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。



第16号

平成23年7月発行



節電にご協力をお願いします。

持続可能な社会に向けて、「低炭素」・「資源循環」・「自然共生」の3つの分野で一人ひとりが身近な行動を起こす「CCかわさき“エコ暮らし”」の実践を呼びかけています。キャンペーン第1弾では、ミックスペーパー・プラスチック製容器包装の分別収集を呼びかけましたが、キャンペーン第2弾では、低炭素チャレンジ行動を呼びかけます。特に今夏は、電力不足に対応するため、節電の取組が求められています。下記の家庭でできる節電対策メニュー（夏期版）を参考に節電へのご協力をお願いします。

家庭でできる節電対策メニュー（夏期版）

エアコン	①使用する場合は28℃を目安とする。 ②ゴーヤによる緑のカーテンや、“すだれ”、“よしず”などで窓からの日差しを和らげる。 ③無理のない範囲で、エアコンを消して、扇風機を使う。
冷蔵庫	④冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにする。
照明	⑤日中は消して、夜間もできるだけ減らす。
テレビ	⑥省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。
温水洗浄便座	⑦便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があればこれらを利用する。 ⑧上記の機能がなければコンセントからプラグを抜いておく。
ジャー炊飯器	⑨早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊いて、冷蔵庫に保存する。
待機電力	⑩リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使用しない機器についてはコンセントからプラグを抜いておく。
その他	⑪消費電力の大きい電気製品は、平日の日中(9時～20時)を避けて使う。 ⑫節電に大きな効果をもたらす「節水」についても積極的に取り組む。 ※外出している時も、④、⑦、⑧、⑩の対策を実施する。

※エアコンの控えすぎによる熱中症などに気をつけて、無理のない範囲で節電しましょう。

※電力需給状況がひっ迫した場合は、節電の取組に一層のご協力をお願いします。

●問い合わせ先：環境局地球環境推進室 電話：044(200)3871 FAX：044(200)3921